

2021年度 JABEE教育プログラム認定・審査のための 受審校研修会 2021年6月19日開催

No 質問	回答
<p>1 どなたに質問すべきかわかりませんでしたので、講演者を特定せずに質問させていただきます。(i)チームで仕事をするための能力に関する質問です。(ii)では、他分野の人を含む他者と協働することの重要性の認識を得るために、他分野(理工系以外の分野)の人を含んで、グループワークをさせなければいけないと言われているかと思えます。これについて、3年前の時点では、他分野の人を含んだグループワークをしていなくてもWをつけないということだったと思いますが、今年度の審査では、他分野の人を含んだグループワークができていない場合は、Wをつけることになるのでしょうか？審査をする上で、重要なポイントかと思えますので、教えてください。</p>	<p>3年前と今年度とで審査基準が変わったということはありませんが、年を経るごとにチームワークを養う教育は全国で普及してまいりましたので、以前の審査では容認されていたものが、次第に厳しい判定へ移りつつある傾向にはあるかと思えます。ただし、それは必ずしも「他分野の人を含んだグループワークができていない場合はWをつける」という単純な判定を意味するものではありませんし、あくまでも当該科目の実施方法やカリキュラム中での位置づけなどを考慮しつつ、基準への適合度をケースバイケースで判定するものとお考えください。以下のリンクの最後のページ(5枚目)が参考になるかと思えます。https://jabee.org/doc/13574.pdf</p>
<p>2 本日は貴重な機会をありがとうございます。 本校は2020受審でしたので今年受審となっています。2点教えてください。 ①今までは土木系では土木学会での事前面談を行われていたのですが、これについては、オンラインでも実施されるのでしょうか？ ②オンラインでの審査では成績根拠資料が懸念事項と考えています。WEBで実施したものであればよいですが、紙ベースのものを授受するのは大変のように思います。求められた場合にはどのような形での対応とするのでしょうか？</p>	<p>①従来学会で行われていた事前打合せはGoogle Meetをつかってリモートで実施されることになると思われます。 ②ケースバイケースと思われますので、打ち合わせによって決めてください。一般的には、大きな負担のない範囲で、審査側の要望する資料を受審側が電子化して授受してください。その際、個人が特定されないように適宜黒塗り等をお願いします。</p>
<p>3 三つご教示お願いします。(1)本年度秋から全学共通科目としてデータサイエンス(選択)が開講されます。準備科目が1つ増えるだけなので大きな影響はないと考えていますが、注意すべき点はあるでしょうか。(2)編入学の可否を検討中です。特に土木系の場合には単位読み替えに大きな支障はないと思われそうですが、大学他分野からの編入の場合には単位不足が懸念されます。JABEE上留意すべき点をご教示頂けるでしょうか。他の認定プログラムでの編入学の実績はあるでしょうか。(3)学習教育到達目標を科目毎のシラバスに記入していますが、この度全学でシラバスの書式・項目などを統一する動きがあり、全学でJABEE認定の2学科だけが特別仕様となっているため、システム構築上、可能であれば削除したいという意向があります。シラバスから目標を削除し学科独自のガイダンスや授業で科目別目標を別途表示などの対応で可なのか、シラバス本体への明記が義務づけられているのかご教示お願いします。</p>	<p>(1)同科目をつかって教育改善状況を受審側でPRLしたいのであればそれができそうな準備をお願いします。なお、審査対象は当該年度の卒業生であることにご留意ください。(2)編入学の単位認定については、納得のいく説明ができるようにしていただく必要があります。プログラムの考え方に無理がないかどうかをご検討ください。(3)一般に、プログラム履修生がシラバスをみたときに目標との対応を把握できるような工夫がなされている方がよいのではないのでしょうか。</p>
<p>4 審査チームの一員として質問いたします。具体的な教育実態の審査等で「主要な科目」という表現がございます。プログラム側と審査側で「主要な科目」に関する認識が異なる場合は、どのように審査を進めていけばよろしいでしょうか？</p>	<p>特定の科目がカリキュラム中の「主要な科目」であるかどうかは、基本的にはプログラム側がその科目をカリキュラム中でどのように位置づけているかに基づくものであり、認定審査の際にその妥当性を説明する責任はプログラム側にあると考えます。一方、説明を受けた審査チームの認識がプログラム側とは異なり、提示された「主要な科目」とカリキュラムとの間に何らかの不整合性が感じられる場合には、その認識に至った理由をプログラム側と共有し、審査の過程で双方の認識の違いを理解しあうようにご努力ください。それでも双方の溝が埋まらない場合、例えば、各目標を具現化するのに適当な科目群が関連付けられていなかったり不足している可能性などを含め、ここで懸念されている点が目標の達成において問題となるかどうかを一つの判断の目安として、プログラム側の目指す目標の水準を意識しつつ、最終的な審査結果をおまとめいただくのが適当かと思われます。</p>
<p>5 '自己点検書に記載する表1の内容は、受審時の4年生に対応する内容を記載するとの認識でよろしいでしょうか？もし、改組や内容の見直しで、表1の◎○の記載内容が変更される場合も、自己点検書の表1は受審時の4年生の内容を記せばよいでしょうか？また、変更内容は別途添付資料などでの説明が必要になるのでしょうか？お教えいただければ幸いです。</p>	<p>継続性についても審査対象になりますので、3年生までのプログラムにおいて変更のある場合は両者を示して説明をお願いします。</p>

web審査実施校(函館高専と宇都宮大学)への質問

1	事前打ち合わせが実施審査に先立って、実施されていますが、そのあたりで、自己点検書に関するやりとりがあったのですか？	<p>函館高専 事前打ち合わせにおいて、Web審査の詳細スケジュールを決めるとともに、提出した自己点検書に関する質問事項が審査チームから提示されました。事前打ち合わせ以前には自己点検書に関するやりとりはありませんでした。</p> <p>宇都宮大学 事前打ち合わせ時には、自己点検書の内容について、不明な部分に関する質問を書面にて受けました。回答につきましては、後日、JABEEのメンバーズページにアップロードしました。</p>
2	学習・教育到達目標の達成度を示すためにどのような資料を用いられましたでしょうか？	<p>函館高専 事前打ち合わせにおいて、学習・教育到達目標の達成度を確認する資料として主要2科目(講義1, 実験1)の提出が求められ、学年成績総合評価表, 答案, 課題などを提出しました。本校の学年成績総合評価表には学年成績の計算根拠とともに、学習・教育到達目標の達成度が記載されています。</p> <p>宇都宮大学 学習・教育到達目標の達成度を確認するために、各授業科目の成績を用いて、目標ごとの達成度を数値化しています。これを元に各学生がレーダーチャートを作成していますので、これを資料として提出しました。</p>